

令和5年度 学校評価自己評価表

学校教育目標	「夢と志」をもち主体的に生きる児童の育成
経営理念	ミッション：自他を尊重し，自ら考えて，よりよく行動できる児童の育成 ビジョン：信頼される学校づくり

評価計画					
	中期経営目標	短期経営目標	評価項目・指標	目標達成への方策	目標値
確かな学力の育成	自ら学ぶ態度の育成と学力の向上	学力の定着と向上	・NRT, 標準学力調査標準スコア(国語・算数)	・ICTを効果的に取り入れた授業を行う。 ・スキルタイムを計画的, 継続的に実施し, 支援の必要な児童への指導を重点的に行う。	50%
		主体的・対話的な学びに向けた授業改善	・授業で課題解決に向けて自分で考え, 自分から取り組んでいる児童の割合 ・自分の地域の良さを表現している児童の割合 ・児童が表現したくなるような指導の工夫をしている職員の割合	・生徒指導の三機能を生かした授業チェックリストを活用し日々の授業改善を行う。 ・教科と特別支援教育の考え方を融合し, 「問い」を引き出す工夫やグループ学習を効果的に取り入れて授業を行う。	85% 80% 100%
豊かな心の育成	向て社会 上いける 生活資 質を円 滑に進 め	児童の協働性と自己有用感の向上 東広島スタンダードの定着	・児童評価 みんなで話し合っ て決めたこと などに協 力して取 り組み, う れしか つたこ とがあ る児童 の割合 ・東 広島 スタン ダード あいさ つレ ベル 4以 上の 割合 (児童 ・職員 評価)	・縦割り班活動や行事等を通して, 他学年の良いところを見つける。 ・委員会活動や高学年を中心に, あいさつレベルが向上するような取組を呼びかける。	90% 児童 80% 職員 70%
健やかな体の育成	健やかな心身の育成	運動や外遊びの奨励	・運動や外遊びを肯定する児童の割合	・委員会活動を中心に, 外遊び奨励の全校での取組を企画, 実行すると共に, 環境整備を進める。	85%
		メディア利用の適正化による基本的生活習慣の定着	・メディア利用時間2時間以内の児童の割合	・メディア利用に関する指導やメディア教室を実施し, 児童にメディアについて考えさせる。	90%
信頼される学校	信頼される学校づくり	業務改善の推進	・教職員満足度	・管理職と教職員との対話を通して教職員の改善意欲を高める。 ・業務の適正化により, 教員が子供と向き合う時間を増やす。	90% 85%
		地域・保護者にかかれた学校の実現	・地域・保護者満足度	・アンケート(地域・保護者)の分析から改善計画・実施を図り, 児童の育ちを地域・保護者に発信する。	90%

評価(目標値に対して)  
 4(目標を上回って達成) ≥ 105%      105% > 3(目標どおりに達成) ≥ 95%  
 95% > 2(目標をやや下回って達成) ≥ 70%      70% > 1(目標をかなり下回って達成)